

九州支部平成 27 年度総会及び特別講演会・ポスターセッションのご報告

日本都市計画学会九州支部平成 27 年度総会及び特別講演会、ポスターセッションが、4 月 4(土)に九州大学西新プラザにおいて開催されました。

1. 平成 27 年度 九州支部総会

総会では、以下の(1)～(3)の議案等について報告・審議され、賛成多数で承認されました。

(1) 平成 26 年度事業報告

a) シンポジウム：「国際観光からの地域活性化-多様な旅行者に対応したおもてなしを通じて-」と題して開催しました。参加者は国・県・市の各行政、民間企業、学識経験者、学生と幅広く、86 名が活発な議論を行いました。

b) 九州支部都市計画サロン： 交通社会実験や災害時避難シミュレーション、中心市街地活性化や都市再生特別措置法改正など幅広い話題をテーマに、計 4 回実施しました。

(2) 平成 27 年度役員選任

今年度の役員が選任されました。主な役員は次の通りです。
支 部 長：外井哲志 (九州大学)
副支部長：坂井 猛 (九州大学) 橋本信幸 (都市プラン九州)
幹 事 長：吉武哲信 (九州工業大学)

(3) 平成 27 年度事業方針

今年度も引き続き、a) 講演会及び事例研究会の開催や b) 研究分科会活動等の事業を継続します。また c) 支部発表会(ポスターセッション、研究発表会)を拡充します。

2. 特別講演会

総会後に、公益社団法人日本都市計画学会 常務理事/埼玉大学大学院教授の久保田尚先生から「超超高齢社会が備えるべき交通システムとは」という演題でご講演いただきました。自転車通行方法、電動自転車、ハブアンドスポーク型バス運行、商店街におけるライジングアップポールの導入例などの興味深いお話をいただきました。

3. 「九州まちづくり賞」の表彰

九州支部初となる九州まちづくり賞の授与式を開催しました。この賞は、まちづくりおよび都市計画の進歩・発展に著しい貢献をしたすぐれた成果または実績を表彰することにより、これをたたえ、九州支部地域の都市計画の発展を企図して創設されました。福岡県、大分県、宮崎県内から 7 件の

応募があり、厳正な審査のうえ、以下の 3 件を表彰しました。

「ホルトホール大分と大分いこいの道の一体的整備によるにぎわいの創出」

「集約型都市構造の実現に向けた土地利用誘導の実践」

「北九州におけるリノベーションスクールを通じたまちづくり事業」

4. 支部研究発表会(ポスターセッション・口頭発表)

九州支部初の試みとして、口頭発表を実施しました。4 件の発表のうえ、支部役員による審査を行い、最優秀賞 1 点を表彰しました。またポスターセッションは例年より多く 40 点応募がありました。参加者 44 名(発表者 29 名)による議論のうえ支部役員による審査を行い、最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点を表彰しました。

【口頭発表セッション】

最優秀賞：小坂健人(福岡大学)「地方中小都市の民有地における緑景観の保全に関する調査検討ー長崎県松浦市の高生垣(ひゃーし)を事例としてー」

【ポスターセッション】

最優秀賞：吉永翔平(崇城大学)「VR 技術を活用したまちづくり手法の提案と有用性の検証」

優秀賞：川浪晃(福岡市)「幼児連れ歩行者の歩き方に着目した安全安心な歩行環境の検討」

優秀賞：藤美沙子(福岡大学)「バスプローブデータを活用した道路混雑情報(VICS 情報)の生成に関する基礎的研究ーマイクロ交通シミュレーションによる分析ー」

優秀賞：田中啓介(福岡大学)「渡辺通りにおける中央走行式バス専用レーン導入のフィージビリティスタディー渡辺通り 1 丁目交差点～天神北交差点を対象にー」

(文責：幹事 永村景子 (九州大学))



九州まちづくり賞(上)と支部研究発表会(下)の受賞者のみなさん